



## 小学生が国際交流 吹奏楽や伝統遊びで歓迎

1月25日、中国深セン市の育才第一、第四小学校の5、6年生38人が国際交流事業の一環で下館小学校（田沼政志校長）を訪れました。下館小学校では、全児童約600人が歓迎レセプションを開き、吹奏楽や合唱などで歓迎しました。両国の子どもたちは、なわ跳びや卓球のほか、すごろくや福笑いなど日本の伝統的な遊びをとおして交流を深めました。



## 出発進行！～水戸線開業130周年イベント～

JR水戸線が1月16日に開業130周年を迎え、記念イベントの一環として19日に下館駅で出発セレモニーが開催されました。セレモニーでは、富田保男駅長と須藤茂市長が、記念ロゴのハットマークを付けた列車に出発の合図を送りました。改札外では、ミニSLの運行や子ども用駅長服での記念撮影会が行われ、鉄道ファンや家族連れでにぎわいました。



## 延命寺のシダレザクラが 市指定文化財になりました

延命寺（伊佐山）にある推定樹齢350年のシダレザクラが市指定文化財（天然記念物）になりました。

この桜は、エドヒガンという種類で、幹周り3メートル、高さ9メートルと市内屈指の大きさを誇ります。60年ほど前に落雷を受けながらも、毎年春になると、こぼれんばかりに花が咲き、地域の人にも親しまれています。



## 4年後、元気に帰って来てね～鮭の稚魚放流～

2月3日、茨城県鬼怒小貝漁業協同組合（中川行雄組合長）が鬼怒川（国道50号線高架下）で、9日には、勤行緑地でもだて紫水ロータリークラブ（中村兵左衛門会長）が、鮭の稚魚の放流会を開催しました。5センチほどに成長した稚魚約22万匹が放流され、参加者らは「がんばれ！」、「大きくなって帰って来てね」とエールを送っていました。



## 中学生有志による 環境美化ボランティア

1月28日、市内の中学校生徒会の連合組織「筑西ジュニア虹色ネットワーク」の活動の一環として、下館中学校（稲川尚之校長）で地域のゴミ拾い活動が開催されました。

この日は、下館中学校の生徒会（中山華花会長）と有志の67人が、学校周辺を4つのルートに分けて美化活動を行い、45リットルのゴミ袋19袋分のゴミを集めました。



## 貴重な文化財を守る ～内外大神宮防火訓練～

文化財防火デー（1月26日）にちなみ、小栗の内外大神宮（国重要文化財）で、27日に神社関係者、消防関係者、地元住民ら約100人が参加し、防火訓練を行いました。訓練は拝殿西側山林からの出火を想定し、火災を発見した住民らが、119番通報と文化財などの搬出、初期消火にあたり、駆け付けた消防団・消防署員がポンプ車で放水しました。